

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-132354 (P2003-132354A)
【公開日】平成 15 年 5 月 9 日 (2003.5.9)
【出願番号】特願 2001-324255 (P2001-324255)
【国際特許分類第 7 版】
G 0 6 T 7/00
【F I】
G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 4 月 28 日 (2004.4.28)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

複数の画像データを入力し、当該画像データのうち、少なくとも 1 つを複数の小領域に分割する分割工程と、
上記小領域を他の画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出工程と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計工程と、
当該集計の結果に基づき、上記複数の画像データ間の類似性を評価する類似性評価工程とを有することを特徴とする信号処理方法。

【請求項 2】

上記複数の画像データ間の類似する領域を抽出する類似領域抽出工程をさらに有することを特徴とする請求項 1 記載の信号処理方法。

【請求項 3】

上記類似領域抽出工程では、上記集計の結果が最大となるところにおける上記変換パラメータと略等しい変換パラメータの抽出された上記小領域が抽出されることを特徴とする請求項 2 記載の信号処理方法。

【請求項 4】

相関法を用いて上記変換パラメータを求めることを特徴とする請求項 1 記載の信号処理方法。

【請求項 5】

上記所定の変換は、シフト変換及び / 又は輝度値の変更であり、
上記変換パラメータは、上記小領域と上記他の画像データとの相関値が最大となるところにおける位置差及び / 又は輝度比であることを特徴とする請求項 4 記載の信号処理方法。

【請求項 6】

上記集計工程では、上記変換パラメータを軸とする空間に、上記複数の画像データ間の類似の度合いを示す値が集計されることを特徴とする請求項 1 記載の信号処理方法。

【請求項 7】

上記集計工程における上記類似の度合いを示す値は、上記複数の画像データ間の類似度に比例した値であることを特徴する請求項 1 記載の信号処理方法。

【請求項 8】

上記類似度として、上記複数の画像データ間の相関値又は当該相関値の自乗を用いること

を特徴する請求項 7 記載の信号処理方法。

【請求項 9】

上記複数の画像データは、一の画像データの異なる部分画像データであることを特徴とする請求項 1 記載の信号処理方法。

【請求項 10】

記録手段に記録されている画像データを再生する再生工程と、
再生されている上記画像データの中から所望の画像データを指定する指定工程と、
上記所望の画像データを複数の小領域に分割する分割工程と、
上記小領域を上記記録手段に記録されている検索対象画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出工程と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計工程と、
当該集計の結果に基づき、上記所望の画像データと上記検索対象画像データとの類似性を評価する類似性評価工程と、
上記所望の画像データと上記検索対象画像データとが類似する領域を検出する類似領域検出工程と
を有することを特徴とする信号処理方法。

【請求項 11】

複数の画像データを入力し、当該複数の画像データのうち、少なくとも 1 つの画像データを複数の小領域に分割する分割工程と、
上記小領域を他の画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出工程と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計工程と、
当該集計の結果に基づき、上記複数の画像データ間の類似性を評価する類似性評価工程と、
上記複数の画像データ間の類似する領域を検出する類似領域抽出工程と、
上記類似領域抽出工程で抽出された上記複数の画像データ間の類似する領域を符号化する第 1 の符号化工程と、
上記類似する領域以外を符号化する第 2 の符号化工程と
を有することを特徴とする信号処理方法。

【請求項 12】

複数の画像データを入力し、当該画像データのうち、少なくとも 1 つを複数の小領域に分割する分割手段と、
上記小領域を他の画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出手段と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計手段と、
当該集計の結果に基づき、上記複数の画像データ間の類似性を評価する類似性評価手段と
を備えることを特徴とする信号処理装置。

【請求項 13】

複数の画像データを記録する記録手段と、
上記記録手段に記録されている画像データを再生する再生手段と、
再生されている上記画像データの中から所望の画像データを指定する指定手段と、
上記所望の画像データを複数の小領域に分割する分割手段と、
上記小領域を上記記録手段に記録されている検索対象画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出手段と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計手段と、
当該集計の結果に基づき、上記所望の画像データと上記検索対象画像データとの類似性を評価する類似性評価手段と、
上記所望の画像データと上記検索対象画像データとが類似する領域を検出する類似領域検出手段と
を備えることを特徴とする信号処理装置。

【請求項 14】

複数の画像データを入力し、当該複数の画像データのうち、少なくとも1つの画像データを複数の小領域に分割する分割手段と、
上記小領域を他の画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出手段と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計手段と、
当該集計の結果に基づき、上記複数の画像データ間の類似性を評価する類似性評価手段と、
上記複数の画像データ間の類似する領域を検出する類似領域抽出手段と、
上記類似領域抽出手段によって抽出された上記複数の画像データ間の類似する領域を符号化する第1の符号化手段と、
上記類似する領域以外を符号化する第2の符号化手段と
を備えることを特徴とする信号処理装置。

【請求項 15】

複数の画像データを入力し、当該画像データのうち、少なくとも1つを複数の小領域に分割する分割工程と、
上記小領域を他の画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出工程と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計工程と、
当該集計の結果に基づき、上記複数の画像データ間の類似性を評価する類似性評価工程とを有することを特徴とする信号処理プログラム。

【請求項 16】

複数の画像データを入力し、当該複数の画像データのうち、少なくとも1つを複数の小領域に分割する分割工程と、
上記小領域を他の画像データと類似するように変換したときの変換パラメータを抽出するパラメータ抽出工程と、
上記変換パラメータに基づいて求めた類似の度合いを示す値を集計する集計工程と、
当該集計の結果に基づき、上記複数の画像データ間の類似性を評価する類似性評価工程とを有することを特徴とする信号処理プログラムが記録されたコンピュータ制御可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

このような信号処理装置は、入力された複数の画像データの少なくとも1つを複数の小領域に分割し、その小領域毎に他の画像データとの類似性を求め、それらを集計すること

によって複数の画像データ間の類似性を評価する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

このような信号処理プログラムは、入力された複数の画像データの少なくとも1つを複数の小領域に分割し、その小領域毎に他の画像データとの類似性を求め、それらを集計することによって複数の画像データ間の類似性を評価する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

このような記録媒体に記録されている信号処理プログラムは、入力された複数の画像データの少なくとも1つを複数の小領域に分割し、その小領域毎に他の画像データとの類似性を求め、それらを集計することによって複数の画像データ間の類似性を評価する。

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 0 8】

このような信号処理装置は、入力された複数の画像データの少なくとも1つを複数の小領域に分割し、その小領域毎に他の画像データとの類似性を求め、それらを集計することによって複数の画像データ間の類似性を評価する。

【手続補正 2 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 1 2 0 】

このような信号処理プログラムは、入力された複数の画像データの少なくとも1つを複数の小領域に分割し、その小領域毎に他の画像データとの類似性を求め、それらを集計することによって複数の画像データ間の類似性を評価する。

【手続補正 2 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 2

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 3

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 5

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 7

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 1 2 8

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 3 6】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 3 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 3 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 1 3 2】

このような記録媒体に記録されている信号処理プログラムは、入力された複数の画像データの少なくとも1つを複数の小領域に分割し、その小領域毎に他の画像データとの類似性を求め、それらを集計することによって複数の画像データ間の類似性を評価する。

【手続補正 3 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 4 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 5
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 4 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 4 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 7
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 4 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 1 3 8
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 4 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 0

【補正方法】削除

【補正の内容】